

# 第3章 市民・事業者の意識

## 1 市民・事業者アンケート調査の概要

(1) 目的 「環境基本条例」制定及び「環境基本計画」策定の一環として、市民・事業者の考えや意見を環境施策に反映することを目的とします。

(2) 内容 質問項目は次のとおりに構成されています。

- 市民・事業者共通
  - ・環境問題に対する考え方
  - ・新居浜市のイメージ
- 市民
  - ・新居浜市の環境について
  - ・環境の取り組みと教育について
  - ・具体的な環境施策について
- 事業者
  - ・事業活動における環境保全の取り組みについて
  - ・行政が力を入れるべき施策

(3) その他の事項

区分	対象	配布数	方法	期間	回収率
市民	新居浜市在住の20歳以上の市民（無作為抽出）	2,000通 (男949、女1,051)	郵送	平成13年 6月18日～6月29日	45.3%
事業者	法人（無作為抽出）	300通	郵送	平成13年 7月19日～8月3日	43.7%



山から見た新居浜港（本港）周辺

## 2 調査結果のまとめ

市民アンケート調査について 26 項目、事業者アンケート調査については 13 項目について、アンケートを実施しました。その結果の概要は、次の通りです。

### (1) 環境問題に対する考え(市民・事業者共通)

市民・事業者ともほぼ同じ傾向を示し、地球環境問題は多くの回答者が深刻だと考えています。地球環境問題では「地球温暖化\*」「オゾン層\*破壊」に、生活環境問題では「大気汚染・水質汚濁」「ごみ問題」に特に関心を示しています。事業者は、事業活動との関連で、「ごみ問題」の中でも「リサイクルやごみの減量化」が市民より関心が高くなっています。

また、市民では、環境保全の取組についての考えとなると、積極的な層・消極的な層・無関心な層に回答が三分されており、分かりやすい情報提供と意識啓発及び環境教育の充実が期待されます。

### (2) 市民が考える新居浜市の環境について

現在の新居浜市は、素材生産型産業の低迷を反映して、市民の多くが「活気のないまち」としてのイメージを持っています。希望する将来の新居浜市のイメージでは「活力ある産業」と「自然やアメニティ」を重視しており、開発と環境保全の調和が課題になります。

新居浜市の環境の現状については「ごみやポイ捨て」などの環境美化問題と「まち並みが美しくない」「歴史的雰囲気を感じられない」などの都市景観の問題が上位にあがっています。住宅と工場の混在が解消されていないことを反映して、特に川西地区をはじめとして「工場が多い」という土地利用の問題や、一般国道 11 号などの慢性的な渋滞を反映して「自動車の交通量が多い」という交通公害問題など都市構造に関わる問題が続いており、全体的に地域環境のマイナス評価に回答が集中しています。

身のまわりの環境悪化にふれて、8 割近くの市民が「環境が悪い」という評価を提出しており、散乱ごみの除去や河川の水質改善など、まず、まちをきれいで清潔にしたいという願いが調査結果に表れています。

表 3.1 新居浜市の環境

順位	環境問題への関心	環境の現状	身のまわりの環境悪化
1	大気汚染、水質汚濁	ごみやポイ捨てが多い	散乱ごみ、犬のフン
2	ダイオキシン類、環境ホルモン	まち並みが美しくない	水質汚濁(河川の汚れ)
3	散乱ごみ、犬のフン	工場多い	騒音
4	リサイクル、ごみ減量化	自動車交通量多い	大気汚染
5	緑や水辺	歴史的雰囲気なし	悪臭
6	騒音・振動	交通の便悪い	振動

### (3) 市民の環境保全の取組

日常気をつけていることは、主にごみの分別や生ごみの堆肥化、冷暖房の適切な温度設定などの電気の節約、食用油の回収や無リン洗剤の使用などで、家庭の中では、景気低迷が続くなか節電・節水にこころがけ、また、ごみの分別や水を汚さないことに気を配っていることがうかがえます。将来の環境のために取り組みたいことでは、日常生活を環境にやさしいものへと変えていくこと、リサイクル運動や地域美化活動への参加などを考えています。しかし、全体的には居住地周辺の付き合いの範囲内に留まりがちな傾向が見られ、取り組む課題や、活動する場、活動主体など取り組みやすい企画や呼びかけが重要となります。

表 3.2 環境保全の取組

順位	快適には必要	気をつけていること	取り組みたいこと
1	散乱ごみ除去	ごみの資源化	環境にやさしい生活
2	自然の親しめる場所	省エネルギー	リサイクル運動への参加
3	水辺の保護復活	水質汚濁防止	美化活動への参加
4	交通、買い物の便利さ	環境に配慮した消費活動	学習・実践参加
5	緑の充実、文化施設の充実	自動車の運転配慮	

#### (4) 事業活動の環境への影響

事業活動に関連あるものとして、「産業廃棄物の排出」を3割の事業者が挙げています。有害化学物質への対応も含めて、原材料から製造過程・廃棄までの各段階の把握管理と適正処理の徹底が望まれており、産業廃棄物の環境影響について意識が高まっていることがうかがえます。産業廃棄物及び事業系ごみの処理の透明性を高める努力が必要です。

#### (5) 事業者が考える環境保全への取組と支援

積極的取組を実行していると回答した事業者はわずか3%と少ない現状です。環境保全に対して積極的な姿勢と消極的な姿勢を示す事業者の割合はそれぞれ4割強であり、ほぼ二分されています。

取り組むうえでの障害は、「手間がかかる」が約1/3、「費用がかかる」が約1/3、「わからない」と「徹底できない」を合わせて約1/5と三つのグループに分かれています。特に中小企業などでは独自の取組をするには限界があり、意識啓発はもちろんのこと、積極的な技術指導・技術援助や助成制度及び情報提供など、きめ細かな行政支援が必要です。

#### (6) 環境に配慮した事業活動

環境に配慮した事業活動について、現在、実行済みが50%を超える取組を挙げると、

- ・ リサイクル製品の積極的利用やオフィスごみの減量化
- ・ オフィスの省エネルギー化
- ・ 物品の廃棄の際の環境への配慮
- ・ 屋外の活動、行動への配慮

となり、経費節約につながるもの、法的規制を受けるものなどはすでに多くの事業所が実行していることが分かります。

実行困難に対する回答率が高い取組を挙げると、

- ・ 自家用車通勤をバスや自転車に転換
- ・ 省エネルギー化のためコージェネ、太陽熱利用などを導入
- ・ ISO14001\*の認証を取得
- ・ 化学物質の排出抑制
- ・ 化学物質の排出対策
- ・ 国際協力

となり、費用がかかったり、新たな投資を必要とするものや自由度・利便性が制限されるものについては消極的です。

表 3.3 新居浜市の事業者が取り組んでいること

区 分	実行済%	実行困難%	備 考
リサイクル製品の利用 ごみの減量化、省資源化	53.4	6.9	9割は取り組むべきと考えている。
省エネルギー - 化	77.1	3.1	事業活動の環境負荷は依然として大きいので更なる取り組みを。
グリーン購入	44.3	10.7	実行面でやや積極性に欠ける（コスト面での障害）。
自動車通勤をバス・自転車へ	9.9	58.8	「実行困難」が約6割。
廃棄物の適正処理	69.4	4.6	「検討中」の事業所が約2割。法的規制は遵守。
事業計画に環境配慮	26.7	13.8	「検討中」の事業所が約5割。
新エネルギー（コージェネ、 自然エネルギー）の導入	5.3	35.9	「検討中」の事業所が約5割。情報提供が必要。
周辺環境との調和	24.4	25.9	「実行済」、「検討中」、「実行困難」へほぼ三分。
敷地内緑化	37.4	24.4	「実行済」、「検討中」、「実行困難」へほぼ三分。
化学物質の排出抑制	13.0	37.4	「検討中」、「実行困難」へ二分。情報提供、技術指導が必要。
化学物質の排出対策	11.4	38.2	「検討中」、「実行困難」へ二分。技術指導、援助が必要。
ISO14001 認証取得	3.8	42.8	「検討中」、「実行困難」へ二分。普及啓発、支援が必要。
環境に配慮した事業活動	51.1	16.0	多くの事業所が環境配慮の行動を意識している。
従業員への啓発	40.5	13.0	「検討中」が4割強。中小の事業所へは支援必要。
国際協力	4.6	46.6	「実行困難」が約5割。



道路功労者表彰を受賞した住鉄ふれあい倶楽部のボランティア清掃

### 3 調査に寄せられた市民の意見（抜粋）

#### 生活環境

- ❖ ディーゼル車の排気ガスを規制してほしい。
- ❖ ダイオキシン問題や環境ホルモン問題について真剣に考えてもらいたい。

#### 道路環境

- ❖ 車道と歩道が分離されている歩道（自転車併用）は歩行者にとって歩きにくい。また、段差もたくさんあり車椅子の人にとっては大変である。
- ❖ 高齢者にとって便利な交通体系を整備してもらいたい。
- ❖ 電線を地下に埋設して欲しい。

#### 都市環境

- ❖ 商店街の空き店舗が多すぎる。早く改善策をとって欲しい。若い年代が集まるような魅力ある町にして欲しい。買い物をする場等。大丸跡地をなんとかして欲しい。
- ❖ 公園など多くの人がくつろげる美しく静かな場所を作って欲しい。中央公園付近を流れる水を利用した潤いのあるスペースに。中央公園周辺をきれいにして欲しい。

#### 自然環境

- ❖ 使われていない田畑を宅地に地上げするのではなく、借り上げて耕作する仕組み作りを。
- ❖ 瀬戸内の自然をいかせるような海岸地域の整備をして欲しい。子どもたちが自然の海で泳げるような環境を整備して欲しい。
- ❖ これ以上開発をせず、自然を残して欲しい。緑や花を増やして欲しい。

#### 環境美化

- ❖ 市民一斉清掃の回数を増やす。
- ❖ 河川敷にある廃車対策をして欲しい。
- ❖ 尻無川等への不法投棄をなんとかして欲しい。川の中の草木等の処理。河川をきれいにし、市民の憩いの場となるようにして欲しい。
- ❖ 沢津海岸、荷内付近の海岸には流着ごみ、不法投棄ごみが多い。

#### ごみ処理

- ❖ 燃やせるごみを出すときにナイロンの袋で出すのはおかしいと思う。燃やせる袋で出すべきではないか。
- ❖ 買い物時に包装、袋などたくさんごみが出る。その対策を考えて欲しい。
- ❖ ごみ処理に多額の費用がかかっているので、家庭用ごみ処理機を低コストで希望者が購入できる制度を作ればよいと思う。
- ❖ 菊本沖に次期不燃物埋立所は足りない。

#### 環境教育

- ❖ 家庭での教育が大切だと思うのでそのような場をたくさん作っていただきたい。市民レベルでのセミナー、勉強会などを活発にするシステムを作って欲しい。

#### 推進体制

- ❖ 環境部門の職員を増やし、市が責任を持って対応して欲しい。

## 4 調査結果から抽出される環境課題

調査結果から抽出される新居浜市の環境課題は、次のとおり考えられます。



市民一斉清掃



放置自動車の撤去